

「うふっ♥埼玉でまたまたこんなのみつけちゃった♪」展

会期:2018年2月7日(水)ー2月12日(月・祝)

会場:アートギャラリー呼友館 小江戸川越 いも膳内

出展作家

なお丸 宮原裕美 渡邊あや 相田大希 高野博史 福島尚 高橋香 白田直紀 小幡海知生
小林ちゃん ユキウサギ コバヤシカオル 石井章 齋藤進 横井雅美 横田和明 前田聡男
三好進 原口めぐみ 藤崎香織 野村真優子 ヤマジュンヤ 尾ヶ井保秋 中崎強 卯月寛
すずきしょうた 並木信弘 森川里緒奈 高橋典光 浜林主基 平川寛隆 椎橋豊 高野穂
大森利浩 青木悟 林直登 杉浦篤



なお丸

僕の作品作りの年間計画は、県展に何を出品しようかと考えることから始まります。大型の作品を作ろうか？左右に突き出た迫力ある作品を作ろうか？可愛い動物をたくさん作ろうか？楽しく毎年考えて挑戦しています。作品が埼玉県立近代美術館に並ぶ達成感は最高です。そして、みなさんに僕の世界を観てもらえたら超最高です。



宮原 裕美 / (社福)皆の郷所属(川越市)

細やかな模様の組み合わせで構成された作品を描く宮原さん。コロコロと雰囲気が変わっていく作品と同じように、異次元で不思議な物のようでもあり、ユニークでポップなものでもあり、繊細で大胆で明るく楽しい魅力的な作家です。



渡邊 あや / みぬま福祉会 工房集 (川口市)

あやさんと言えば、「飛行機」。でも、自分の表現を見つけるまで、さまよい、悩み、模索し続けてきた。養護学校の修学旅行で行った沖縄。「また飛行機に乗って、沖縄に行きたい」という思いから見つけた飛行機というモチーフ。心の深いところにある寂しさや満たされなさは多くの人に認めてもらいたい、関わりたいあやさんの切実な願い。



相田 大希

支援学校の中学部3年の時から描く事を始め今日に至っています。2002年から二科展やその他の公募展で多数受賞しています。海外で展示された絵もあります。15年間に描いた絵はたくさんありますが、どの絵もその時の大希にしか書くことのできない絵です。



福島 尚

幼少期から鉄道に強い興味を持ち、列車や信号機、踏切り等鉄道に関する絵を描くようになった。アクリル画や水彩画の他、ペーパークラフトや乗車券のレプリカを作る等、創作範囲を広げている。



高橋 香 / 発達障害者就労支援センター ジョブセンター熊谷(熊谷市)

感情を整理するために描く事が多いです。
100色以上の色鉛筆と10B~10Hの鉛筆を使って描いています。
何回も重ねて描くので、仕上がるまで時間はかかりますが、その間に気持ちが整理されていきます。



白田 直紀 / 社会福祉法人みぬま福祉会 アトリエ輪(川口市)

画像を見ながら描くが、決してそのものではない。
細かいペン先を何回も往復させ、独特な色彩を出す。
今はとにかく花を好んで描いている。
愛らしくもあり、それでいて不気味さもある彼の世界がある。



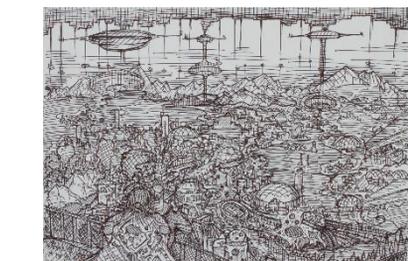
小幡 海知生

上野博物館に深海魚を見に行き、そこから今回の魚の表現になりました。紙を15枚自分で張り合わせて、大きな作品に仕上がりました。



小林ちゃん / NPO法人織の音アート・福祉協会(さいたま市)

どっしりと椅子に腰かけテーブルに伏せるように、今日も文字や絵を想うがままに綴っています。そして、ゴミ箱にポイッ。
しわしわのメモ帳を広げたら、小林ちゃんワールドが、どーんと飛び出してきました。



高野 博史 / (公社) やどかりの里すてあーず(さいたま市)

退院をしてからの約8年間リハビリも兼ねて毎日絵を描くようになりました。日々すてあーずという作業所で革製品を製作。自分なりのデザインに悪戦苦闘しています。
そこでの作業の影響もあるのか、年々より細やかな描写の作品に変化してきました。